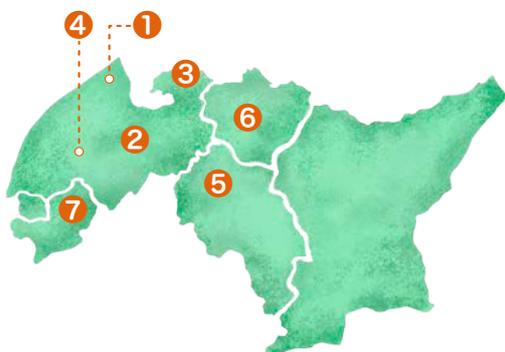


いちじく



果物の中でもっとも歴史が古く、紀元前5世紀以前からあったと言われています。果実だけでなく葉も薬効と栄養価が高い果物で、不老長寿の果物として大切にされてきました。JA新潟かがやき管内では、県内シェア87.1%を占めています（令和4年実績）。なかでも西蒲原平野を中心とした地区で栽培され、一定の基準を満たしたものを「越の雫」として県内外へ出荷しています。阿賀野市笹神地区では育苗ハウスの有効利用として栽培が始まり、現在は「阿賀野市産いちじく」として市場に出荷しています。主な品種は、果実が大きくさっぱりとした甘味が特長の「柘井ドーフィン」を中心に様々な品種があります。



出荷時期

出荷時期：8月～11月

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

JA新潟かがやき管内収穫地域

- ①新潟市西区(黒埼)
- ②新潟市南区
- ③新潟市江南区(横越)
- ④新潟市西蒲区(巻・西川・潟東)
- ⑤五泉市
- ⑥阿賀野市(安田・笹神)
- ⑦燕市(分水)

知っ得! 豆知識

日持ちしにくいので、食べきれない場合は、甘露煮やジャムにしてもおいしく召し上がれます。

越の栗

夏の終わり頃から秋にかけて出荷されるブランドいちじくです。みずみずしい果実の栗が舞い落ちたイメージから、「越の栗(こしのしずく)」と命名されました。品種は「榎井ドーフィン」。ぶちぶちとした食感と独特の芳醇な香り、上品な程よい甘みが特長です。栽培面積は県内1位で、県内産いちじくの出荷量の約70%を占めます。平成24年(2012)には、新潟市が全国に誇る農産物である「食と花の銘産品」に指定されました。

旬の時期：8月～11月

生産地：新潟市、燕市、弥彦村

 JA新潟かがやき

